

令和6(2024)年度日本歴史研究コース授業計画

授業名	都市伝承論		
担当教員	川村清志		
授業概要	現代における都市伝説の総体を概説しながら、既存の民俗学が射程としてきたメディアの外延と伝承概念の相対化を目指す。民俗学、文化人類学、社会学などにおける声とメディアと物語についての視座を捉えなおす。以上の理論的立場を踏まえつつ、多様な「都市伝説」の事例分析を通して、「都市」とは何かについて検証を行っていく。		
教育目標・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンテンポラリーフォークロアとしての「都市伝説」の把握 ・ 伝承概念の相対化と更新 ・ メディアミックス時代の「都市」の表象の理解 		
成績評価	講義を踏まえたうえでのプレゼンとディスカッションが40%、最終レポートを60%の割合で評価する。		
授業計画	1. 未発のテーマとしての「都市伝説」	9. 拡大する都市伝説(1)—陰謀が一杯	
	2. 「伝承」とは何か	10. 拡大する都市伝説(2)—宇宙も都市か？	
	3. 日本のアーバン・レジェンド	11. 拡大する都市伝説(3)—跋扈するUMA	
	4. 「妖怪」から「怪異」へ	12. 拡大する都市伝説(4)—アニメと音楽	
	5. 「口裂け女」に見る話型論への収斂	13. 生成される都市伝説の現場	
	6. フォークロリズムとしての都市伝説	14. 伝説と現実の狭間で	
	7. 展開するメディアと伝承	15. 都市とメディアと物語	
	8. 「世間話論」の射程		
実施場所	研究室	使用言語	日本語
前期・後期の別	前期・ 後期 ・通年	対象年次	3, 4, 5
		単位数	2単位
教科書・参考図書	講義において、適宜、指示する。		
備考			